



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 16 号

R3.7.7

文責 中西 勉



## 願い事

今日は七夕。右の写真のように、各教室の廊下には、子供たち一人一人の「願い事」を書いた短冊が笹に吊るされています。その願い事を見てみると、「コロナが早くおさまりますように」という今の世相を反映したものがたくさんありました。新型コロナはこんなところにも影響を及ぼしているのかと思うと、少し寂しい気がしました。

気持ちを切り替えて、さらに短冊を見てみると、「足がはやくなりますように」「ピアノがじょうずにひけるようになりますように」というような、自分の能力が高まることを願うものが多くあることに気付きました。小学生らしい率直な願い事に触れることができ、ちょっと心が和みました。

さて、この「〇〇ができるようになりますように」という願い事を抱いている子供たちに期待したいのは、それを単なる“願い事”で終わらせず、自分の“目標”として、その達成に向けた努力をしてほしいということです。私が小学生だった頃、同じように「足が速くなりたい」と強く願っていました。それを実現するには練習しかないと思い、自分で考えた「100回ジャンプ」というトレーニングを毎日行いました。努力は実を結び、6年生のときには、50mを7秒前半で走ることができるようになりました。

男川っ子たちには、何も努力をせずに、ただ幸運が舞い込むのをじっと待つというパッシブな生き方ではなく、願い事の達成のために、自分にできることを進んでやるというアクティブな生き方を追求してもらいたいです。



## 「おやじの会」の皆様、ありがとうございました

今回、各学級で七夕飾りを作るにあたり、7月4日（日）に「おやじの会」の皆様が、全学級分の笹を切って学校に届けてくださいました。子供たちのために、休日返上でご尽力くださったことに対し、心よりお礼申し上げます。



## 【1年生】七夕集会

今日、1年生が体育館で七夕集会を開き、踊りやクイズなどを行いました。進行役の子供たちがとてもやる気いっぱい、3か月間の成長を肌で感じてうれしく思いました。

